

新興国レポート

インド2020年3月消費者物価と金利動向

インド10年国債金利は当面ボックス圏で推移か

- ▶ インドの2020年3月CPI（消費者物価）（前年同月比）は2ヵ月連続低下。RBI（インド準備銀行）の追加利下げ期待が高まる可能性も。
- ▶ インド10年国債金利は、追加利下げ期待と景気刺激策の財源（資金源）のための国債増発懸念という好・悪材料が交錯する中、当面ボックス圏で推移か。

(1) 2020年3月CPIが2ヵ月連続低下

- インド統計局が4月13日発表した2020年3月のCPIは前年同月比+5.9%と、前月から0.7%低下しました。前月を下回るのは2ヵ月連続です。変動の大きい食料品・飲料・燃料を除いたコアCPIは同+4.1%と、前月と同じでした（図表1）。昨年夏場の天候不順で高騰していた野菜価格が落ち着き、CPI構成要素の約4割を占める食料品が同+8.8%と前月より2.0%低下したことが主な要因となっています（図表2）。3月は、CPI、コアCPIともにRBIの物価目標（2～6%）内に収まりました。

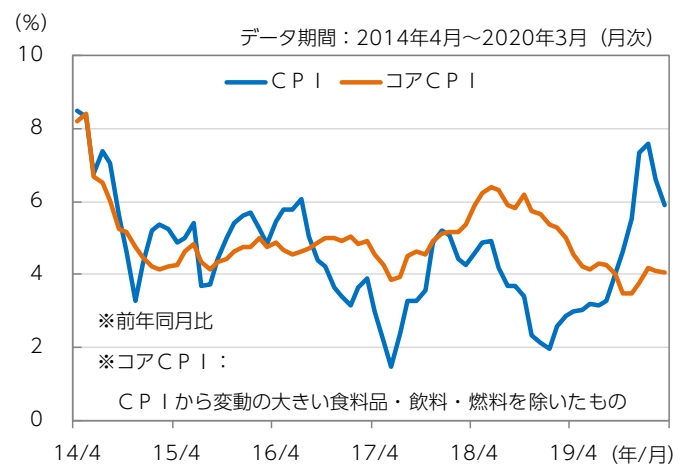
(2) ロックダウン期間延長とRBIの追加利下げ期待

- インドのモディ首相は4月14日、3月25日から21日間の予定で続けてきた全土でのロックダウン（都市封鎖）を、5月3日まで延長すると発表しました。
- IMF（国際通貨基金）は4月14日に発表した最新の世界経済見通しで、インドの2020年度の経済成長率を前回（20年1月）より3.9ポイント下方修正し、+1.9%としました。市場では、ロックダウン期間が延長されたこともあり、マイナス成長に陥るとの見方も始めているようです。RBIは3月27日に臨時会合を開き、政策金利を0.75%引き下げましたが、物価が落ち着きを取り戻しつつあることから、景気刺激のための追加利下げ期待が高まることも考えられます。

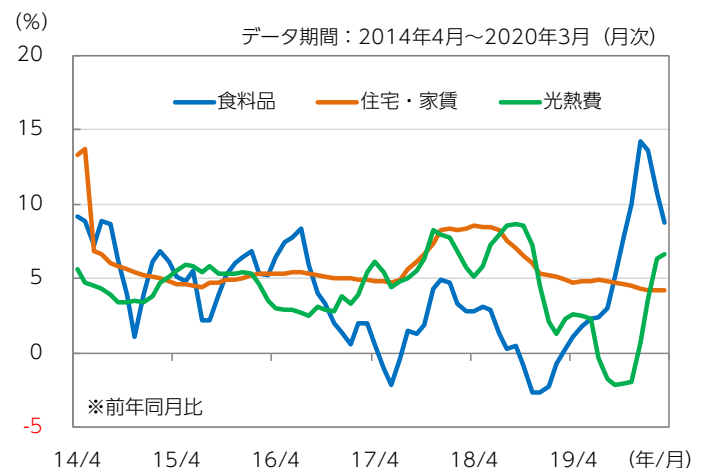
(3) インド10年国債金利の動向と見直し

- インド政府は3月27日に1.7兆インドルピー（約2.5兆円）の経済対策の実施を発表しましたが、市場では、その資金源として国債が増発されるとの懸念が強まり始めているようです。3月27日の緊急利下げにより一旦低下したインド10年国債金利が、足元上昇傾向（価格は下落）となっているのは、国債増発懸念も影響しているものと思われます（図表3）。
- インド10年国債金利は、追加利下げ期待と国債増発による需給悪化懸念という好・悪材料が交錯する中、当面はボックス圏で推移するものと見ています。

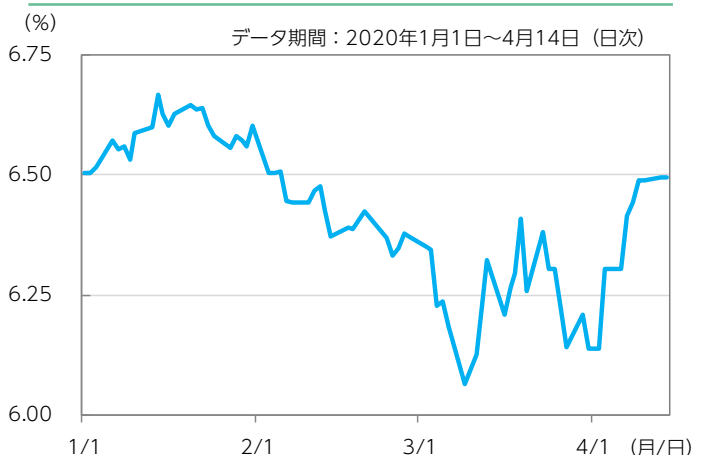
図表1：CPIとコアCPI



図表2：CPIの主な構成要素の価格変動



図表3：インド10年国債金利



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>